

繊維質系泥土改良材 ボンファイバー

ボンファイバーとは？

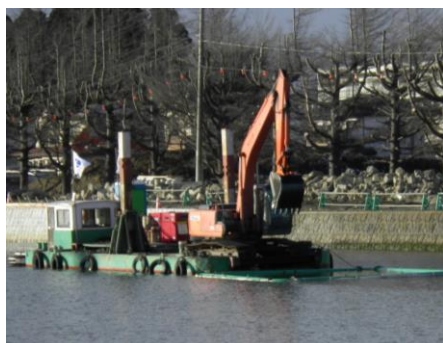
従来、盛土としての利用が不適とされてきた泥土に使用する繊維質系泥土改良材、固化材を添加・混合することにより、これらを積極的に地盤材料に再資源化するための主材料です。



本製品の特長

- 泥土の水分を吸水、取扱い性が向上します
- 乾湿繰返しによるクラックの発生を抑制します
- 液状化抵抗力および耐浸食性が向上します

適用対象土



河川、港湾等の浚渫土砂



ため池底泥



地盤改良、推進工事等から発生する建設汚泥

(その他、建設現場から発生したすべての高含水泥土に適用可能)

使用方法



① 高含水泥土を攪拌ピットに集積



② ポンファイバー投入、攪拌



③ セメント等の固化材投入、攪拌



④ 改良土の搬出、養生



⑤ 改良土の敷均し、締固め



⑥ 地盤材料として再利用
(路体、堤体、宅地造成等)

品質・安全性

ボンファイバーの原材料は古紙類を使用しております。本製品の品質や安全性については、環境基準等をクリアした製品を現場へ出荷しております。

ボンファイバー自社基準

項目	規格値	確認頻度
水分	10%以下	年1回
pH	6.0~8.0	
吸水量	3.5cc/g 以上	
土壤環境基準 (全27項目)	全基準値 満足すること	年1回

荷姿

寸法: 約 90cm×90cm×90cm

重量: 約 250kg/個

備考: 金属番線による束縛済み(番線カッターをご用意下さい)

飛散防止用フィルムによる被覆済み

専用吊り帯標準装備



発行番号 No.E050002
発行年月日 平成28年3月10日

濃度計量証明書

株式会社森環境技術研究所 殿

計量室 邦東事務所 411 番15号
事業者 エヌエー 環境株式会社
〒105-0003 東京都港区新橋3-24-9
事業所 東北支社 仙台分析センター
〒983-0013 仙台市青葉区中央3-3-3 3階の2
TEL 022(254)4400
FAX 022(254)4401

計量管理者 高橋 義晴
環境計量士(濃度関係) 登録番号 第0543号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

計量の項目	(単位)	計量の結果	定量下限値	計量の方法
カドミウム	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 55.4(2013)
全シアン	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0102 38.1.2及 C38.9(2013)
有機リン	(mg/L)	0.1未満	0.1	S49通告64号付表1(126改正)
鉛	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 54.4(2013)
六価クロム	(mg/L)	0.01未満	0.01	JIS K 0102 65.2(2013)
亜塩素酸	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 61.4(2013)
総水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46通告59号付表1(126改正)
アルキル水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46通告59号付表2(126改正)
PCB	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46通告59号付表3(126改正)
銅	(mg/kg)	0.2未満	0.2	S47総理府令第66号に定める方法
シクロメタン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2(1995)
四塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2(1995)
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.0004未満	0.0004	JIS K 0125 5.2(1995)
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.01未満	0.01	JIS K 0125 5.2(1995)
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.004未満	0.004	JIS K 0125 5.2(1995)
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0125 5.2(1995)
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0006未満	0.0006	JIS K 0125 5.2(1995)
トリクロロエチレン	(mg/L)	0.003未満	0.003	JIS K 0125 5.2(1995)
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0125 5.2(1995)
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2(1995)
チラム	(mg/L)	0.0006未満	0.0006	S46通告59号付表4(126改正)
シマジン	(mg/L)	0.0003未満	0.0003	S46通告59号付表5.1(126改正)
チオベンカルブ	(mg/L)	0.002未満	0.002	S46通告59号付表5.1(126改正)
ベンゼン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0125 5.2(1995)
セレン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 67.4(2013)
ふっ素	(mg/L)	0.08未満	0.08	JIS K 0102 34.4(2013)
ほう素	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0102 47.4(2013)
以下余白				
備考				
計量に供した浴出液は、客先が作成した持込試料である。				
試験方法:「環境庁告示第46号(平成3年改正平成26年通告44号)」				

製造方法



① 異物除去・選別



② 原材料投入



③ 一次破碎



④ 二次破碎



⑤ 成型



⑥ 完成

本製品施工(ボンテラン工法施工)上の注意点

- ① ボンファイバーと固化材を添加・混合した改良土(以下、ボンテラン改良土という。)は、人口改良土であり、他の発生土と混合して使用しないでください。
- ② ボンテラン改良を行う際は、必ず攪拌機付バックホウを使用し、ボンファイバーおよび固化材の色むらがなくなるまで充分攪拌してください。
- ③ ボンファイバーおよび固化材の添加量は、事前に室内配合試験を実施して配合量を決定してください。
- ④ ボンテラン改良土をすぐに使わない場合は、仮転圧・締固めを行ってください。使う際は、直前に目的強度を確認するため、コーン指数試験を実施してください。
- ⑤ ボンファイバーの添加にあたっては、粉塵が発生するため取扱時には防塵ネット等で周囲への飛散に留意してください。
- ⑥ ボンファイバーを屋外で保管する場合は、直接地面に接しないようパレット等で嵩上げし、ブルーシート等で雨水の侵入を防ぐよう保管してください。また、ボンファイバーの積重ねは、荷崩れが発生しないように2段までとしてください。
- ⑦ メーカーから「製品安全シート(MSDS)」が提出されているので、使用前には必ずお読みください。
- ⑧ ペール缶で原泥を弊社までご郵送いただければ、無償で配合試験を実施いたします。

【製造・販売元】

株式会社森環境技術研究所
〒996-0071 山形県新庄市小田島町 7-36
TEL:0233-22-0832
FAX:0233-22-0932
E-mail:info@mori-kankyo.co.jp
URL:<http://mori-kankyo.co.jp/>

改訂日:2017年10月1日